

## はじめに

本書を手にとっていただき、ありがとうございます。本書は、新人ナースの成長をとおして、医療施設における基礎的な感染対策をわかりやすく理解できるようにまとめた一冊です。

感染対策は、医療や介護の現場で欠かすことのできない大切な知識と技術です。しかし一方で、「難しい」「覚えることが多い」「何となくやっているけれど自信がない」と感じる人も少なくありません。どうすれば、そのような感染対策をわかりやすく伝えられるのかを考えたとき、文字だけでは伝わりにくく、マンガという形が最も伝わりやすいのではないかと思いました。マンガには、場面を具体的にイメージしやすく、登場人物の体験をとおして理解を深めやすいという良さがあります。さらに、マンガのエピソードに対応した解説ページを読むことで、出来事をただ追うだけでなく、「なぜその対応が必要なのか」「どこが大切なのか」を整理しながら学ぶことができます。そのため、部分ごとの理解を積み重ね、最終的に感染対策を統合して理解できるように構成しました。

近年、世界を震撼させた新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって、感染対策の重要性は医療従事者だけでなく、広く社会全体に認識されるようになりました。しかし、感染症の流行が落ち着いてくると、日々の現場の中でその意識が少しずつ薄れてしまうこともあります。感染対策は、医療施設だけでなく、高齢者福祉施設などさまざまなケアの現場でも重要です。そこで働く一人ひとりが、適切な知識と技術をもち、根拠を理解したうえで実践することがこれまで以上に求められています。病原体は目に見えないため、不安や恐怖を感じやすい存在ですが、どのような病原体に対しても、感染対策の基本を正しく理解していれば、必要以上に恐れることなく、落ち着いて適切に対応することができます。

編者はこれまで現場の方々から、「いまさら感染対策について人に聞けない」「手指衛生のタイミングが大切だとはわかっていても忙しくて確実にできない」といった声を数多く聞いてきました。本書では、そうした現場の悩みを、新人ナースとリンクナースやICNが日々の実践の中で失敗したり、学んだり、成長したりする姿をとおして、日常的に必要な感染対策を理解できるようにしています。また、新人ナースが成長していく3年間を、とくに重要な12のテーマを取り上げて、春・夏・秋・冬の季節ごとに起こりうるエピソードとして描き、それぞれについてわかりやすく解説しています。新人の方は「今」の自分を、先輩となった方は「これまで」の自分を、リンクナースやICNの立場にある方は「現状」の自分を、それぞれの立場から振り返りながら、この“あるある”ストーリーをとおして、今後の感染対策に活かしていただければと思います。

本書をとおして、曖昧だった知識を確かな理解へとつなげ、自信をもって感染対策ができるようになるための一助となれば幸いです。日々実践の現場で奮闘する皆さまにとって、身近で役立つ一冊となることを願っています。